

各地の話題 南三陸町

被災地にワインでにぎわいを

2025年5月23日号掲載

全国農業
新聞
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

東日本大震災後の南三陸町に、地元産のワインを通して新たな賑わいを生み出すため、南三陸ワイナリー株式会社が平成31年に設立された。代表の佐々木道彦さんは「自分が本当に良いと思えるものを作り続けることが何より大切だ」と語る。

同社のデラウェア・オレンジは、女性のワイン専門家が審査する「第12回サクラアワード2025」で最高賞を受賞した。「妥協せずに南三陸ワイナリーの味わいを追求した結果だ。手間ひまかけて醸造されたものが高く評価されたことは、南三陸の魅力を広める大きな一歩となった」と佐々木さんは喜びを語る。

ワインを通じて地域の魅力を伝えるため、佐々木さんは観光業にも力を入れている。太平洋沿いのワイナリーを区間バスで繋ぐ「ワインツーリズムさんりく」は、三陸地方をワインと食の産地にするという思いで2022年から始めた。「企画は大変だったが、それ以上にやりがいを感じている。続けていくことで三陸のワインが認知されてくると思うので、生涯をかけて取り組みたい」と語る。佐々木さんの思いがワインと共に地域の賑わいを育んでいる。

【記事提供】南三陸町農業委員会

自社のワインを手を持つ佐々木さん



ワイナリーの製品。中央が最高賞を受賞した「デラウェア・オレンジ」

